

令和6年度第1回地域部活動検討委員会【会議要旨】

開催日時 令和6年7月4日(木) 14:00開会 15:50 閉会
開催場所 三次市民ホールきりり
出席委員 東川委員長, 藤田副委員長, 井上委員, 藤岡委員, 細美委員, 今田委員, 長尾委員, 山崎委員, 片上委員
事務局 三次市教育委員会教育部社会教育課・学校教育課, 地域共創部共生社会推進課
迫田教育長, 宮脇教育部長, 豊田教育次長, 矢野部長, 山西課長, 藤本課長, 山岡係長
信田係長, 山本指導主事, 梅崎主事, 中西部活動地域移行総括コーディネーター

- 次 第
- 1 開会
 - 2 報告・協議
 - 3 その他
 - 4 閉会

配付資料

- ①資料1「令和5年度末時点での取組, 確認事項」
- ②資料2「令和6年度取組について」
- ③資料3-1「三次市地域部活動検討委員会設置要綱」
- ④資料3-2「三次市地域部活動移行の関する意見提言」
- ⑤資料3-3「三次市部活動の地域移行に係る基本方針(令和5年10月)」
- ⑥資料4「令和6年度三次市内中学校部活動 種目別加入状況」

1 開会・挨拶

教育長: 枠組み, 先が見通せない中である。三次市は広く, 学校数も多い。

国・県の方針を待つことなく, 本検討委員会で推進していきたい。

地域移行の目的は, ①子どもにとって, 自分が好きなスポーツや文化に取り組む。(ひとづくり) ②地域の中で, 様々な人とつながり, 地域づくりを進める(まちづくり) ③学校・地域・保護者・関係者の役割分担の中で, それぞれWin-Winとなるようにしていくこと。

全国教育長会でも, 3つの目的を確認した。各地域で取組は様々である。

学習指導要領の中に, 部活動が明記されている状況である。次期の学習指導要領では, 検討事項となる予定である。

本市では, 大胆に改革していきたい。制限なしに議論して欲しい。

先が見えない中, ゴールイメージの無い課題に向けて, 生徒にとってより良い形となるよう, それぞれの立場から様々な角度で実施に向けた意見をいただきたい。

2 報告・協議

(1) 検討委員会の取組経過について（事務局説明）

資料1「令和5年度末時点での取組，確認事項」

(委員長)「子どもにとって」という視点で，様々な関係者の力を借りて進めていこうという確認であった。運動部だけでなく文化部も含めて進めていく。

(委員長) サッカー，剣道は新たな動きが始まったのか。

(委員) 会費，会場が難しいが，指導者は現在教えている教職員が希望している。マネジメントは三次市スポーツコミッションにやって欲しいと考えている。

(事務局) 児童生徒対象に，定期的に集まっている土台がある。今後のマネジメントは未定。

(委員) 吹奏楽については，各地域でやる方法，各学校でやる方法，三次市全体でやる方法が考えられるが，三次市全体の中学生でやる方向で考えられないか。

(2) 令和6年度の取組について（事務局説明）

資料2「令和6年度の取組について」

資料4「令和6年度三次市内中学校部活動 種目別加入状況」

①先行実施の取組

○甲奴地域，三和地域，吹奏楽（きりり主催事業）

- ・楽器の貸し出し調査を実施し，多くの学校で承諾を得ている。

○三次市民ホールきりり

- ・地域移行への取組状況
- ・受益者負担（1回500円，楽譜の購入）（遠征日200円／保護者）
- ・募集時期・方法の工夫

(委員長) 甲奴で野球以外はないのか。

(事務局) 陸上も考えていると聞いている。

(委員) 組織の幹部だけで，集まるのではなく，現場の意見を聞く場を設けることはできないのか。

(事務局) 各機関との連携は必要だと考える。

(委員) 体育協会も横の連携が十分とは言えない。体育協会としての動きを検討しているところである。地域移行も一つの課題と捉えている。専門部からヒアリングを行っている。

部活動にない種目についても，指導したい等の意見もあると聞いている。

より広い視点で子どもに機会を与えたいとは考える。

スポーツコミッションとして，地域部活動のマネジメントを行うことを担うことについても，協議していかなければいけない。今年1年かけて，体育協会，スポーツコミッションとしての体制を整えていきたいと考える。

(委員) 部活種目が少ないから，他中学校に進学する生徒も出てきている。親としては送迎の問題はあるが，やりたいことをやらせてやりたい。

(委員) 部活を希望して，他中学校に行く生徒もいるが，野球クラブチーム等に所属して，

学校では技術部に所属している生徒もいる。

(副委員長) 現在、過渡期であり、地域クラブも中体連の大会にも出られる。本校では、地域クラブに所属している生徒は学校部活動には所属しないようにしている。学校部活動に加入する必要はないという動きもある。

(委員長) 学校にない種目でも、地域が受け入れるという動きは良いと考える。

例えば、ダンスを希望する生徒がきりりで指導を受ける等の可能性も考えられる。

(委員) 自分の子どもの通う中学校も陸上と卓球しかない。高校3年の姉は吹奏楽がしたくて、市内でも規模の大きい中学校へ入学した。中2の息子は野球がしたくて、クラブチームへ所属し、現在の中学校では陸上部に所属している。

保護者によっては、送迎や経済事情により難しい面はあるであろう。

完全にフリーにするのも、良いと思うし、中体連の良さもある。

(委員長) やりたいことがやれる三次市として、知恵を出し合おう。

②今後に向けた取組

○サッカー、剣道

○学校訪問、住民自治組織等で出された意見の紹介

(委員) 運動公園にテニスや卓球する高齢者がおられる。指定連とは異なる同好会も多くある。それらと繋がり、一緒に地域移行を図れば良いのではと考える。

(委員) 文化連盟のサークルは多くある。人材は予想以上にいる。

(委員) 今後、地域の方と一緒に取り組むことを考えたら良い。

(委員) 体育協会へのお願いだが、少人数での練習だけだと楽しくないので、試合ができる中体連以外の大会を設けて欲しい。サッカーでは三次独自のリーグ戦を行う等。競技人口を増やすために、幼稚園への募集も考えている。

(委員長) できる種目から、活動を発展させれば良いのでは。

住民自治組織等への協力も依頼しながら、進める方向で良いか。

(皆) 良い。

(委員長) 子どもがやりたいと思うことをやらせてやれる環境づくり

自治連訪問により、子どもを支えたいという思いの確認

資料2裏面の「地域で子どもとかかわりを持つことに異論ない」「コミュニティーセンターと活用してもらってよい」等、地域づくりへの思いは熱い。

土日の部活動地域移行について考えてきたが、土日に地域が部活動を担うと、子どもには休みが無くなる。1週間、1年間を見通して、子どもたちの環境を考えていかなければならない。

土日の部活動地域移行に加えて、平日も含めたあり方を検討課題としてはどうでしょうか。

(委員) 我々は土日の部活動を検討してきた。今後の方針を見通した方が良い。

(委員長) 平日のことを今までは検討していなかったが、将来的には、休日も考えた方が良いが、段階的に三次市も休日も考えていく方が良い。

(委員) 各論的な意見に進んだ方が良い。

(委員) 委員が言われたように、息子さんは、クラブと部活の二重登録となっている。
まずは、土日の居場所づくりを考えながらも、平日も含めた居場所づくりを考えていかなければならない。

(副委員長) 学校では、地域クラブを認めており、地域クラブに所属している生徒は学校部活動への所属は不要としている。

(委員長) 三次市の子どもたちをどう育てていくのかという思いで、過重にならないような取組を考えていく必要がある。
モデル地域での取組、平日を視野に入れた取組を考えながら、本日提案があった5つの提案を進めていきましょう。

(事務局) 休日の活動を厳守するという三次市の部活動の方針は定めており指導を継続している。
今後について、事務局としても、本日のご意見を踏まえた取組案を考えていく。

3 その他

次回 8月下旬 市役所予定

4 閉会